

健全育成委員会活動報告書

担当：青森県高等学校PTA連合会

『ご挨拶』

東北地区高等学校PTA連合会 健全育成委員長
(青森県高等学校PTA連合会会長) 葛西 孝之



健全育成委員会はコロナ禍の間隙を縫って、6月、9月、11月とすべてリアル開催を実現できました。会場の青森県は山形県や福島県の皆様にとりまして東北のなかでも最も遠い場所であり、御来県、大変御足労様でした。

せっかくお越しいただいたみなさまに少しでもいい思い出をと、限られた時間ではありましたが、6県あげて取り組んできた「登校時一声運動・アナーアップ運動」実施報告率が増加していることや各県の取り組みについての情報交換、また「防災教育」や「高校生の社会参画」についての勉強会開催と、明日のPTA活動のヒントがちりばめられていたと思います。

この冬、青森市は積雪が最大1メートルを超え、街全体がスキー場状態です。無料の地吹雪体験ツアーにご招待したいところですが、次回、皆さんにお逢いできるのは新緑の季節。5月8日には新型コロナの感染症法上の位置づけが現在の「2類相当」から「5類」に移行されること。その時は、新型コロナ感染拡大で失われた3年間を取り戻すべく、みんなで大いに語り、パワーアップした東北高P連活動を展開しましょう！
やっぱりPTAだって「密」なんです。

委員長 葛西 孝之 (青森県：青森)

副委員長 中村 美津緒 (青森県：青森工業) 三ヶ森 善智 (福島県：相馬農業)

委員 高宮 文昭 (岩手県：葛巻) 竹嶋 美佳沙 (秋田県：能代松陽)

齋 章一 (宮城県：名取北) 柴崎 雅典 (山形県：村山産業)

< 活動報告 >

1. 第1回健全育成委員会 6月7日(火)：青森市 青森県観光物産館アスパム

2. 第2回健全育成委員会 9月2日(金)：青森市 アートホテル青森

【講話】 講師：弘前医療福祉大学短期大学部 救急救命学科

救急救命士 荒谷 雄幸 氏

演題 「防災教育について」

東日本大震災の経験から日頃から準備しておくべき事やいざとなったときの具体的な対応など大変学びの多い講演でした。

3. 第3回健全育成委員会 11月25日(金)：青森市 アートホテル青森

【講話】 講師：特定非営利活動法人日本人財発掘育成協会

理事長 坂本 徹 氏

演題 「地域の魅力発見プロジェクト」

～地域で育てる高校生～

今年度、内閣総理大臣賞受賞の青少年を地域で育てる活動の講演でしたが内容も多く示唆に富むお話で皆さんとても有益だったようです。

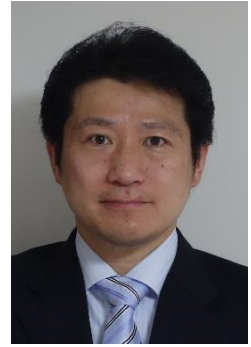
各県の委員長さん方から日頃の活動について伺いました

岩手県

『できることから始める』

岩手県高P連健全育成委員長 高宮 文昭

岩手県ではコロナ禍で活動が制限されるなか、だれでも取り組みやすい挨拶運動を県内すべての高校で実施しようと取り組んでいます。参加者は、PTAのほか、生徒会、警察や地元の人など、地域の実情にあったメンバーに参加していただいています。過去にのぼりを作成し全校に配布しており、さらにははっぴを準備する高校もあり、コロナ禍の中大声を出さなくても伝わる効果があります。また、スタンプをつくり、年間7回の挨拶運動のスタンプ数に応じて特典がある取り組みや、挨拶運動後に学校公開を実施する取り組みなど、仕事を調整して活動に参加したくなる工夫を行っています。このようにコロナ禍で活動の制限がある中、各校の取り組みを参考にしながら、子どもたちとのコミュニケーションの機会を増やしたい、健やかな成長を見守りたいと考えています。各県、各学校の取組みを参考にしながら、PTA会員が一丸となって、子供達の健やかな成長に資する取組みの一助になればと思います。



秋田県

『持続可能な活動を願って』

秋田県高P連健全育成委員長 竹嶋 美佳沙

秋田県ではこれまで同様各学校単位で挨拶運動に取り組みました。新型コロナウイルスの感染拡大により、参加校が減少するという年もありましたが、今年度はほぼ感染拡大前の参加校数へと回復しました。活動が縮小し、三年という時間の中で活動そのものが無くなってしまわないかと危惧したこともありましたが、感染の落ち着きと共に活動が元に戻りつつあり嬉しく思います。

また、秋田県では人命救助や地域への奉仕活動を積極的に行った生徒を表彰する機会を設けております。時代と共に人との関りが希薄になりつつある中で子どもたちの行動については感心させられます。子ども達の行動を通して私たち保護者も他者や地域との関わりについて考えるきっかけとなっています。

引き続き子どもたちの健やかな成長を支えつつ、これまでの活動の継続と時代に合った活動の在り方を考え、繋いでいくことが出来ればと思います。



青森県

『次世代へつなぐ架け橋』

青森県高P連健全育成委員長 中村 美津緒

コロナ禍での学校生活は様々な制約を受け、生徒、教職員をはじめ保護者もその苦しみ、痛みを耐えてきました。このような中で様々なアイデアを出し合って活動することでお互いの絆が深まったとの声を沢山聞くと私も嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

苦難の中での『登校時の一声運動マナーアップ運動』でしたが、きっとこれからのお手本になっていくものと実感しております。

逆境から生まれたこの良い空気感が他のPTA活動にも希望をもたらし、楽しく・明るく・元気の良いPTA活動に繋がってほしいと願ってやみません。

この素晴らしい流れを継続し、更に発展し続ける様に、次世代へつなぐ架け橋になれるよう、情熱を持って今後も取り組んでいきます。



『この三年間は・・・』

宮城県高P連健全育成委員長 齋 章 一

大概の方は次に続く言葉を想像できると思います。何をするにも新型コロナウイルス感染症拡大予防対策（以下、コロナ対策）を考え、実行しなければならないという、本当に面倒な世の中になってしまいました。

そのような状況の中においても、各校PTA健全育成委員と先生が中心になり、生徒ひとりひとりの健やかな成長と、地域との共生を願い、できる限りの取り組みを進めてくださいました。この紙面をお借りして、関係各位に心より感謝を申し上げます。

今回、特に興味深い取り組みとして2つの事例をご紹介します。

- ①挨拶運動を下校時に行い、参加したPTA会員に対し、放課後の部活動見学の特典を供与したところ、とても喜ばれた。
- ②防災避難訓練の際にPTA会長が見学・参加し講評を述べ以後のPTA会合で話題にできた。この2つ事例はコロナ禍の制限があっても、工夫次第でPTAが積極的に生徒と関わることを示し、新鮮かつ画期的な取り組みに感じました。

この事例とは別に、PTA健全育成活動の中で気になっていることがひとつあります。それはPTA会員が挨拶運動や交通指導の時に生徒を安全に誘導することに気を取られ、他者（車）の円滑な通行に支障を生じさせたり、万一、交通事故の原因となってしまった場合、直接的か間接的かを問わず、その責任の所在はどこ（誰）にあるのか・・・ということです。このことを明確にし、PTA会員に周知する必要があると思います。

次年度は本県において高校PTA全国大会が開催される予定です。特に東北地区のPTA各校各位には倍旧のご支援、ご協力を賜りたく、何卒よろしく願いいたします。



『マスク越しの笑顔』

山形県高P連健全育成委員長 柴崎 雅典

毎朝の挨拶は、家庭でも職場でも、もちろん学校でも一日の始まりを意味する合図であり、元気な挨拶ができていくかどうかは、家族との、仲間との、そして友達との関係が良好に築けているのかどうかを確かめるためのバロメーターになるのではないかと思います。コロナ禍において、子供達はマスク着用という制限付きの学生生活をせざるを得ない状況が続いています。

生徒が登下校する際に、マスク越しではありますが、大きな笑顔で挨拶を交わしている姿を見ていると、保護者として子供達の学校生活が楽しく充実したものになっていることを実感することができます。

しかし、マスク越しでの笑顔にも限界があります。せつかくの笑顔の表情がうまく伝わりません。健全育成は、元気でさわやかな挨拶から始まると思います。一日も早くマスクなどせずに「おはよう」「ありがとう」「さようなら」、笑顔いっぱいの表情で挨拶がし合える本当の意味での日常（マスクなしの笑顔）が戻ってくる日を切に願っています。



『本県の取り組み』

福島県高P連健全育成委員長 三ヶ森 善 智

福島県では、令和4年4月1日に「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されました。これに伴い、「福島県自転車条例推進会議」が設置され、県高P連も推進委員として参画し、保険の適正加入や利用者の安全等、最大限の成果が上がるよう取り組んでおります。

同時に、登校時一声運動を継続し、自転車運転のマナー向上に繋がっていきたいと考えております。

また、「教育環境整備」や「統廃合問題」について、福島県教育長に対し「トイレの洋式化」「web環境の整備」「魅力ある学校づくり」等を直接要望いたしました。

様々な角度から、生徒の健全育成に寄与できるよう真摯に取り組んで参ります。



令和4年度「登校時一声運動・マナーアップ運動」取組状況（アンケート結果より）

1 実施校

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
実施報告校数	62	55	51	63	40	53
対象学校数	77	65	56	82	50	73
実施報告率（%）	80.5	84.6	91.1	76.8	80.0	72.6
令和3年度実施報告率	53.7	76.9	68.3	73.2	58.0	86.3

2 実施月（11月以降は実施予定校数）

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
4月	3	1	4	5	5	3
5月	18	7	10	4	4	3
6月	14	16	10	13	26	25
7月	9	6	9	10	3	6
8月	9	5	6	8	2	3
9月	11	12	17	19	6	15
10月	22	37	30	37	33	32
11月	9	5	5	18	2	24
12月	3	0	3	4	1	10
1月	0	1	0	4	0	1
2月	1	0	2	1	0	1
3月	0	0	0	1	0	0
通年	4	0	5	2	2	3

3 実施日数

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
1～3日	35	38	25	37	16	37
4～6日	18	8	10	22	16	12
7～9日	2	1	4	1	4	3
10～12日	2	2	2	3	1	0
通年・その他	4	0	10	3	3	15

4 主な実施場所

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島
校門・昇降口周辺	58	45	47	59	36	37
通学路・学校周辺	10	18	11	19	24	14
駅・地域等	7	6	6	3	8	23
その他	0	0	1	2	0	0

5 実施時間帯

始業前後のみ	58	53	45	54	30	46
下校時のみ	3	1	1	3	1	1
始業前後・下校時ともに	3	0	4	0	8	6
その他	0	1	1	3	0	1

6 参加人数

1日あたりの人数	5.4	6.0	5.9	5.9	4.5	8.1
（令和元年度）	7.5	6.9	4.2	6.4	7.6	6.6

7 その他の協力者の参加（複数回答可）

生徒・生徒会・教職員	29	35	31	37	28	35
教職員のみ	21	16	19	32	11	15
地域・近隣高校・関係機関	2	2	10	3	4	0
その他	1	1	4	2	1	1
単独実施（PTAのみ）	9	1	3	12	1	3